

論 壇

グローバル化が進み、小学校での英語必修化がアジア各国でも相次ぐ中、中央教育審議会の外国語専門部会が小学校5年生以上で週1時間程度の英語必修化を提言した。今年度

中にも改訂される学習指導要領に盛り込まれる見通しだ。英語必修化で、どんな成果が期待できるのか、弊害はないのだろうか。

(題字は書家・貞政少登氏)

小学校の英語必修化

「国際化」という言い言葉で、国はいつまで国民をだまし続けるつもりか。社会に出て英語を使う日本人は全体の1割もいるかどうか。小学生全員に英語を強いるのはばかっている。必要とする者が一生涯努力すればいい。

お茶の水女子大学教授 藤原 正彦氏

難かに、早く始めるに越したことはない。ピアノなどの習いごとと同じだ。問題は、小学校の限られた授業時間で何を優先するかだろう。一に国語、二に国

英語は一般の人には必要ないという議論があるが、いまやエリートだけがしゃべれるという時代ではない。それなのに中学から大学までほぼ10年間習っても実際にほとんど使えないのは、これまでの英語教育そのものに方法、内容とも問題があるからだ。英語教育自体を抜本的に改善する必要がある。

英語教育は現在、多くの小学校で既に総合的学習などで導入されているが、セ

国際教養大学長 中嶋 嶺雄氏

いせい平均年間十数時間。それでは意味がない。私個人としては、小学1年から人として、小学1年から

英語教育は国家戦略



—内藤絵美写真

グローバル化の時代はもう避けられない。グローバル化はアメリカ化の手段としては英語が圧倒的意味を持つ。特にこの15年、ベルリンの壁が崩れ、冷戦が終え込んだ後、環境がすぐ変わった。



—手塚耕一郎写真

語。三、四がなくて五に算数。それ以外は十以下」と私は考える。英語の優先順位はずっと下だ。

優先順位はずっと下

国際人」は大それた。ペラペラしゃべれるも自国の文化や言語を深く知らなければ、世界で相手にされない。米人にとってアラビア語と並んで最も難しい言語とされる。逆に、日本語は欧

「英語で国際人」うそ

た努力で英語も日本語も中途半端な人間が大量に生み出される。日本語が10で出て英語がゼロ、もしくは日本語がゼロで英語が10なら、両方とも5しかできない。両方とも5しかできないのは、米国でも日本でも使えない。これは植民地化された国の特徴だ。「英語ができれば経済がたかくなる」と言うが、学生の英語の成績が日本より高いスリランカやフィリピンは日本

グローバル化遅れる

た。そういう時代の急速な変化に、子どもたちを置いてけぼりにしてはいけない。これからの時代、外国語教育は重要な教科なので、できれば中国なども覚えたい。各自の世界を広げ、世界中どこでもアクセスできる教育が必要だ。文部科学省は「知育、体育、徳育」と言うが、異文化教育、グローバル化教育が日本では欠落している。世界は急速に変化したのに、日本では教育が変わっていない。

のふじわら・まひろ 東京大理学部卒。ベストセラー『家の品格』など著書多数。62歳。

なかじま・みねお 東大大学院修了。中教審外国語専門部会主査。前東京外大校長。著書「中国」など。70歳。